

「日本語教育の参照枠」補遺版の検討に関するワーキンググループの検討状況報告

○本ワーキンググループの目的

「日本語教育の参照枠」（令和 3 年 10 月国語分科会報告）の基となったヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）は 2001 年に公開され 20 年以上が経過している。2020 年に近年の欧州における言語教育環境の変化等に対応する言語能力記述文（Can do）等を示した CEFR CV（CEFR Companion Volume。以下「CEFR（2020）」という。）が公開された。

本ワーキンググループでは、主に CEFR（2020）で示された言語能力記述文（Can do）や新たな概念等を日本語教育の文脈においてどのように扱っていくか検討するとともに、政府の外国人材の受入れ・共生に関する新たな方針等を踏まえ、日本語教育施策を推進するにあたって必要となる考え方や指標等について、今後新たに検討が必要な事項等について整理し、令和 5 年度末の取りまとめを目指す。

○令和 4 年度の検討状況

CEFR（2020）に取り上げられている新たな概念や諸外国における参照状況などについてヒアリングを行い、課題の洗い出しを行った。

第 1 回 6 月 10 日（金）

ヒアリング①厚生労働省 就労場面で必要な日本語能力の目標設定ツール

—円滑なコミュニケーションのために— 使い方の手引き

ヒアリング②CEFR-J 開発経緯及び現状と今後への示唆

<検討事項>国内における日本語教育の現状と課題について

第 2 回 7 月 15 日（金）

ヒアリング③CEFR、CEFR（2020）とフランスの研究者の CEFR、CEFR（2020）

批判から学ぶ

ヒアリング④入門レベルに関するフランスでの取り組み—成人移民に対する

フランス語教育に注目して—

<検討事項>異文化間能力と言語能力の評価について

第 3 回 9 月 21 日（水）

ヒアリング⑤高度外国人材に求められる「仲介スキル」と「オンライン業務スキル」

とは—CEFR2018 補遺版を援用した Can do statements の

構築—

<検討事項>CEFR（2020）における仲介等の概念の整理について

第4回 11月11日(金)

ヒアリング⑥ドイツの移民政策と「統合コース」における CEFR 及び CEFR
(2020) の文脈化

ヒアリング⑦日本語学習番組「ひきだすにほんご Activate Your Japanese!

<検討事項>CEFR (2020) の日本語教育への文脈化について

第5回 1月13日(金)

ヒアリング⑧政策文書で示された目的を達成するために参照できる CEFR
(2020) の概念

<検討事項>「日本語教育の参照枠」補遺版を編集する上での課題の洗い出しと
整理

○主な検討項目(案)

- ・ CEFR (2020) で新たに示された内容の概観
- ・ 日本語能力観について
- ・ 仲介に関する言語活動・異文化間能力に関する説明及び指標
- ・ 新たに示された言語能力記述文を活用した学習活動と言語学習環境の設計と評価
- ・ 日本語教育における CEFR (2020) に関連する取組の事例
- ・ 日本語教師の養成及び研修について